

K U M A M O T O K O U S E N

# 熊本高専だより

革新する技術、創造する未来 ～夢へ翔る熊本高専～

2013  
SPRING

No.11

特集

卒業に向けて

国立熊本高専

## Contents

巻頭のことばP1 / 【特集】卒業に向けてP3 / 進路速報P9 /  
退任教職員からのメッセージP13 / 学生会・寮生会報告P15 /  
キャンパスだよりP17 / News&TopicsP21



# 卒業生・修了生への餞の言葉

校長 宮川 英明



求められている人材は、多様な人たちとコミュニケーションができ、主体的に人生を切り開いていく人で、自分から新しいことを提案し、周りを説得してでもその考えを貫けるような芯の強いタフな人材です。

卒業生・修了生の皆さんは今人生の節目を迎え、わずかな不安を抱きながらも大きな夢と希望を胸に秘め、可能性に満ちた広い世界へ羽ばたこうとしています。五年間あるいは七年前の高専生活を今どのように振り返り評価しているのでしょうか。

良いものを造れば売れた高度成長期に求められた人材は、指示されたことを間違いなく実行できる、社風になじみ勤勉に働く人でした。現在は、グローバル化した世界経済の下で、熾烈な国際競争が繰り広げられ、地球の片隅の出来事が瞬く間に全世界に影響を及ぼす不確実な時代であります。加えて、日本では生産年齢人口が急速に減少し、生産年齢人口と従属人口の比が次第に近づいていくという人口問題があります。今、

活動に情熱を燃やしやり遂げてきた皆さんにはそういった力が備わっており、そのような資質を伸ばす土台ができています。心理学者マズローは、潜在的に持っている可能性を実現し自分の行いうるすべてを果たしたいという人間の最も高い段階の欲求を自己実現欲求と言っています。また、エドワード・デシが指摘したように、人間には他者とつながりたい、人の役に立ちたいといった関係性の欲求もあります。このような内発的欲求を高めて、高専で培った専門技術や人間力を生涯かけてさらに磨き上げ、必要とされる人、なくてはならない人材になってほしいと願っています。

江戸末期から明治にかけて活躍した熊本出身の横井小楠とその弟子ともいえる井上毅は、明治維新および

国家のグランドデザインを描いた人物として高く評価されています。横井小楠は、勝海舟も自分などはとても及ばぬと認めたほどで、あの坂本龍馬や吉田松陰も教えを乞うために訪ねて来た傑物です。小楠の思想で教育に関することを二つ紹介したいと思います。

一つは「実学」、つまり「知識として知っているだけでは役に立たず、実践し社会に活かす」ということです。豊富な体験学習を取り入れ実践力と創造力を育成する高専教育はまさに実学であり、「私」より「公」である社会のために役立てることが重要であります。高専で学んだ皆さんにはこの思想が根付いています。自信をもつて卒業後もこの考えを深化させ社会のために尽くして下さい。「文武両道」も小楠の重んじたことです。皆さんに当てはめれば「技術力と人間力」の両道を共に極めていきなさいということになろうかと思えます。

もう一つは「学問」についてです。小楠の私塾である四時軒に出向いた井上毅が小楠に「学問とは」と訊ねたとき、その要は「思」にあると小楠は語り、「教えを学ぶだけではなく、自分の頭で考えなければならぬ」と述べています。孔子の「学びて思はざれば則ち罔し」に通じる教育思想です。教えられたこと、テキストや論文に書いてあることを鵜呑みにするのではなく、いったん受け留めた後に、これまでに培った経験や知識を総動員して納得するまで自分の頭で思考し、自分の考えとして整理・再構築す

ることの重要性を説いています。これからの人生で是非実践してほしいことです。新しいアイデアはそのような思考過程において閃くものです。実学を重んじ、近代国家をデザインした人物を生み出した土地柄をもつ熊本で学んだ皆さんです。小さく纏まらず、地球を俯瞰するような大きな視点をもって世界をリードしてほしいものです。

私もこの三月で熊本高専を卒業します。素晴らしい学生に恵まれ、優れた教職員に支えられた八年間を誇りに思います。今は「感謝」の二文字が心を満たしています。

最後になりましたが、すべての皆様のご多幸と熊本高専の発展を心から祈り申し上げ餞の言葉と致します。





# 卒業生に向けて

## 地球とその生物に学ぶ

熊本キャンパス後援会会長 村上加代子



卒業、おめでとうございます。価値ある時間を過ごし、貴重な思い出となる学生生活を送られたこと

でしょう。これから別々の道に進む皆さん。このキャンパスで考える力、対人関係のスキルを訓練され、社会に出るトレーニングを受けました。それは仕事だけでなくあらゆるジャンルで活かされていきます。グローバルな視点で世界に羽ばたいて下さい。

私たちの生きているこの地球は太陽から約一億五千万キロ離れた、生命が生存できる狭い領域にあります。生物が凍りつくことも焼けつくこともありません。しかも、地球の軌道はほぼ円形で、太陽との距離は年間を通じてほとんど変わりません。最高の隣人である月のおかげで地球がフラフラと回るコマのようになって横を下にして回転することもありません。宇宙は致命的な放射線や流星体の飛び交う危険な場所です。それでも地球という青い星はこの射撃場の

ような宇宙空間をほとんど無傷で飛行しています。驚くべき防弾チョッキ（強力な磁場と特別製の大气で身を固めているからです。同じように皆さんはたくさんの人々に愛され、保護され、助けられてきました。家族、先生、信頼できる他の人たちです。

近年、科学者や技術者たちは植物や動物に教えられてきました。バイオミメティクス（生体模倣技術）と呼ばれる分野でいろいろな生物の造りやデザインを研究してそれを真似ています。航空機の設計者はザトウクジラからヒントを得たり、ある自動車メーカーはハコブグからヒントを得たりしています。まだまだ自然界に学べるものはたくさんあります。どうぞ皆さんも学び続けて下さい。

自然災害やテロなど日々多くの困難に直面しています。乗り越えるべき問題は少なくありません。しかし、これからの社会の担い手となるあなた方には若さと未来があります。そして希望が味方するでしょう。

保護者の皆様、奨学後援会への温かいご協力ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

## キャンパスでの仲間は一生の友となる

八代キャンパス後援会会長 倉本健一



なにはともあれ、卒業、修了おめでとう！

私も三十四年前に二期生として卒業しましたが、卒業式には出席できず、両親が卒業証書を受けとりました。というのも卒業旅行（海外入旅）を満喫しすぎて悪天候のため最終便に乗り遅れ、帰ってきたのは卒業式の午後でした。この苦い経験から、計画は余裕を持って立てるようにしました。（笑）

皆さんにとって五年又は七年間のキャンパスでの生活を振り返ると、いろいろな事があったことと思います。勉強を頑張る、部活動に励み、高専祭などのイベントもやり抜き、人生においてとても頑張った時ではなかったでしょうか。苦しいことも、楽しかったことも、高専から離れてみると、それらがとても懐かしく思えてきます。私もおはつかぶりながら頑張ったラグビーでしたが、不思議なもので、卒業後もどっぷり浸かり、旧友とは今でも連絡

を取り合っています。五年生になって初めてラグビーを経験した息子も、ラグビーとはどういう存在なのか、理解できたことでしょうか。

また、苦楽を共にした仲間というものはとてもいいものです。長い間生活を共にし、お互い気心も知り一生の友となると思います。大きな壁にぶつかったら、友の顔を浮かべ、あいつだったらどう考えるだろうか、思い切った相談してみてもいいでしょう。きっといい解決の方向性が見つかると思います。恋愛のこともいい、技術面での相談ならなおいいでしょう。

お互い切磋琢磨し、イノベーションを起してもらいたい。また、社会に出たら目標をもって進みなさい。目標が無いと忙しさのあまり心がブレ、だらけてしまいます。

後悔しないよう心をしっかり持ち、これからの人生を思いっきり楽しんでください！

これは私の好きな言葉です。  
「努力は運を支配する」

## 電子制御工学科で得たこと

電子制御工学科 5年 中嶋 流輝



私は、電子制御工学科で高専生活を送ってきました。その中で、もっとも印象に残っているのはシンガポールへの研修旅行です。

海外に2週間滞在することは初めての体験でした。

シンガポールは公用語が英語なので、英語の苦手な私は、はじめは、現地の学生と上手くコミュニケーションを取ることが出来ませんでした。友達の協力でシンガポールに友達を作ることができました。私はこの経験から英語の重要性や、友達がいてくれることのありがたみを知りました。

高専は5年という長い間、同じ仲間たちと一緒に生活していきます。相手の目線に立ち、理解しようと努めることで私にはたくさんの友達が出来ました。友達をたくさん作ると、きっと楽しい高専生活が送れると思いますよ！

## T5 に向けて

情報通信工学科 5年 中村健太郎



高専に入学してあっという間に5年が過ぎました。卒業を間近に控えてみると、辛かった勉強の日々よりも友人たちと過ごした楽しかった事を思い出します。この学校を卒業

できるのは紛れもなく心優しい友人たちに出会えたおかげです。

半人前の野球部(僕)と素人同然のメンバーで結成したソフトボールチームの奮闘、夜遅くまで練習し、みんなの声と気持ちを合わせて実現できたアカペラ同好会講演。学校で習った公式や図はすぐに忘れるかもしれないけど、みんなと過ごした日々は絶対に忘れません。

僕は熊本に就職するから、みんなが地元に戻ったらおいしいお店に連れて行くよ。そのときは僕らの思い出と今の心境を語り合おう！それじゃ、みんなまた会おう。本当楽しかったよ、ありがとう。

## 卒業します

情報工学科 5年 木村 慎

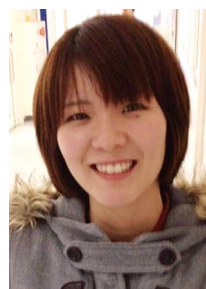


卒業します、早いもので。今までの人生の4分の1を高専で過ごしたことになります。良くも悪くもこの学校には個性豊かな人がたくさんいます。一見普通に見えて実はすごいオタクだったり、普通にしていた

らイケメンなののがっかりするぐらいヘナチョコだったり、そのくせ我が強くて私が提案した意見にはなかなか乗ってくれない……。このクラスの学級委員をしていてこれほどまでに「人間って結局自分のことしか考えてない!」と思い知らされるとは。でもまあ楽しかったですけどね、おかげで人付き合いには自信が持てるようになりました。卒業後はみんなバラバラになりますが、みんなにはこのままでいてほしい、社会の荒波に揉まれながらも自分の芯を忘れないでほしいと、木村慎(しん)だけに。お後がよろしいようで。それでは、さようなら。

## 5年間の高専生活

電子工学科 5年 橋本 美香



私の高専生活はとても充実していました。三年間、同じ教室で学んできた電子の人たちはにぎやかで元気がよく、クラスマッチでは優勝するなど、貴重な経験ができました。ちょっとチャラく見えるけど、みんなとても優

しい人たちです。先生方をはじめ、友だち、両親、すべての人に感謝しています。

四月からは就職して慣れない土地で不安もありますが、感謝の気持ちと楽しむことを忘れないようにしていきたいと思います。

最後に、このクラスでよかった!と思っています。

自由電子★





## 卒業生に贈る

電子制御工学科 5年 担任 藤本信一郎



卒業おめでとうございます。

担任として、君等に関わり、新たな道へ進んでいくこの時に立ち会うことができ、うれしく思います。君等と特に密に接するようになったのは、4年次の

春休みのシンガポール・テマセク校の研修旅行の受け入れからでした。様々な企画の準備・運営を通して、普段の生活では見ることのなかった君等の新たな一面に接した楽しいイベントでした。5年次の就職・進学活動に際しては、君等と共に書類作成や面接の準備を行い、試験結果に一喜一憂したことが思い出されます。

卒業後は、大きく変貌する社会の中で、日々成長することが求められます。この五年間で培った実力をもとに、自らの選択に責任を持って、新たな場で活躍することを期待しています。

## 卒業生へ

情報通信工学科 5年 担任 石橋 孝昭



卒業生および保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。高専生活を終え、安心されているとともに、高専卒業生として自信や誇りを持たれていることと思います。

今年度は、非常に多くの署名や押印をさせていただきました。成績通知書や公欠はもちろんのこと、就職や進学についても推薦書とともに名前を添えさせていただきました。それだけではなく、休学などにおいても署名や押印をさせていただきました。学生の人生のとても大きな決断に関わらせていただくことで、私自身にとっても非常に大きな自信となりました。ありがとうございました。

最後になりましたが、保護者の皆様におかれましては、教育、研究、学生指導に対してご理解とご協力をいただきました。おかげさまで担任を務めることができました。誠にありがとうございました。

## 卒業生のみなさんへ

情報工学科 5年 担任 小松 一男



卒業生のみなさん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。多感な時期の五年間をこの高専で過ごされ、楽しいことや苦しいことなど密度の高い時期ではなかったかと思えます。その2年間を担任として皆さんと接することができてうれしく思います。

クラスの皆さんはお気づきでしょうか、私の教員室の書籍棚には今まで担任を受け持ったクラス写真を貼っております。教員生活はもう二十数年になり、クラス写真は9枚目になりました。当然ですが担任をすると、講義で接するのは比べものにならないほどに、クラスの皆さんのことをよく知るようになります。その分思い出も深く刻み込まれます。そんな卒業生が時々遊びに来てくれるのを楽しみにしておりますので、皆さんもそれぞれの道で活躍され、面白いお話を聞かせてください。

クラスの皆さんはお気づきでしょうか、私の教員室の書籍棚には今まで担任を受け持ったクラス写真を貼っております。教員生活はもう二十数年になり、クラス写真は9枚目になりました。当然ですが担任をすると、講義で接するのは比べものにならないほどに、クラスの皆さんのことをよく知るようになります。その分思い出も深く刻み込まれます。そんな卒業生が時々遊びに来てくれるのを楽しみにしておりますので、皆さんもそれぞれの道で活躍され、面白いお話を聞かせてください。

## 卒業生に贈る

電子工学科 5年 担任 松尾 和典



卒業生の皆さん、保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

電子工学科の卒業生の皆さんとは講義や実験、学校行事など、学生生活の多くの場面で接することができました。その時々皆さんの素晴らしい成長を教員としてだけでなく、本校卒業生としても誇らしく感じ、卒業後も其々が社会人として、社会に貢献できる人材へ真直ぐ成長していくと確信しています。

本校の5年間で得た知識と経験を活かして、新しい技術を学び、未知の分野へも臆さず進んでください。社会で既に活躍している先輩方からの支援もあります。安心して持てる能力を発揮し、進路決定の際に書いた(考えた)人生設計を実現してください。

何年か後に、自慢話をしに来てくれれば大変嬉しいです。



## 「つながり無くして山はなし」

土木建築工学科 5年 吉海 雄大



「高い山を目指せ」担任の中村先生からHRの時間になると口酸っぱく言われてきた一言である。果たして自分はこの5年間の高専生活で高い山を設定し頂に向かって日々進むことが出来たのだろうか?と自分に問いかけてみた。

自分は長期的なスパンでなく短期的なスパンで山を設定し勉強にせよ、部活にせよ取り組んできたと思う。勿論、設定した山を小さくすることもしばしばあった。けれどもそのことが決して悪いことだとは思わない。その積み重ねの上に今の自分があり、周囲の存在がある。特に周囲の存在、支えは尋常じゃなく大切で、先生、友達、家族の存在どれを欠いても山を目指すことはできない。こういった考えをできるのも高専生活本当に出会いに凄く凄く恵まれたからだと思う。このことは本当に胸を張って言える。

新年度を迎えまたたくさんの出会いがあると思う。これまでの出会い、これからの出会いに常に感謝することを忘れず、高い山に挑み続ける気持ちを持ち続けたい。

たくさんの人と繋がれたことに感謝です。

## 5年間を振り返って

生物工学科 5年 福山 翔太



僕は優秀でも勤勉な生徒でもなく、成績もさほど良くはなかったのですが、この5年間でたくさんの人に助けられてきた。生徒会に入っていたわけでもないし、部活のキャプテンだったわけでもない。

それでも、僕の5年間にはたくさんの思い出が詰まっている。野球部では、仲間達と一年中汗を流した。最後の夏、九学との試合は一生忘れない。野球を通し多くの仲間ができた。皆が教えてくれた事、気づかせてくれた事全てが僕の財産だと思う。共に5年間を過ごしてきた人達の中には一生つき合っていきたいと思う友人もできた。友人達とはぶつかることもあった。でも、それがあったからこそ本当の意味で仲良くなれたのだと思う。

春から社会人、僕の学生生活はここで終わりを告げるが、最後に過ごせたのがここで良かった。今、僕は心からそう思っている。

## 卒業を迎えて

機械電気工学科 5年 八浪 真平



卒業を迎えたいまこの5年を振り返って、高専に入学して本当に良かったと心から感じています。

この恵まれた環境で大学並みの専門的な知識を若いうちから学べるというのは本校の大きな特色です。しかし、五つも年の離れた人とともにすごし、ともに学び、ともに活動できることも大きな良さの一つだと思います。

私は高専に入学して技術的な知識だけでなく、社会に出て必要となるコミュニケーション力も身につける事が出来ました。そのおかげで就職活動も上手くいき、本当に自分が成長したということが身にしみて感じる事が出来ました。

在校生のみなさん、高専に入学できたことは誇り高いことです。自信を持ってこれからも勉強や部活動に励んで下さい。最後にお世話になった先生方、5年間本当にありがとうございました。

## 5年間を振り返って

情報電子工学科 5年 岩村 俊幸



私は、高専生活や部活動をとおして貴重な経験をする事ができました。

高専生活で一番心に残っているのが高専祭です。数あるイベントの中で4年時の高専祭の実行委員では、お化け屋敷の責任者を任されましたが、他の実行委員、補助員の人たちのおかげで無事に終了することが出来ました。

次に部活動ですが、私はハンドボール部として5年間やりぬきました。夏の暑い日や、冬の寒い日でも休まずにやりぬいた結果、九州大会三位という記録をつくる事ができました。

このような経験からチームの友達と協力して頑張るという楽しさを知り、きつくても諦めなかったことで自分自身を強くすることが出来たと思います。

一人ではできないことほど周りとの協力することにより終わった後は強い達成感を得ることが出来るので、なにもしてこなかった人にもぜひ残り的高専生活を有意義に過ごしてほしいと思います。



## 飛び立つ君へ

土木建築工学科 5年 担任 中村 裕一

### [風を吹かせよ]

卒業おめでとう!

担任として大事にしたことは、人間力を高め、社会人・技術者として必要な誠実さを育むことであった。11月の三者面談でも確認したが、高専五年間で大きく磨かれたその誠実さをもって、君を待っている人たちの期待に応えてほしい。そうすれば、そこには新しい風が吹く。

### [光を發せよ]

卒業してから高専で学んだことの価値(すこさ)を改めて意識するだろう。技術者としての価値を高めるための研鑽に努め、仕事の中で君のオリジナリティを發揮してほしい。そうすれば、君自身で光を發することが出来る。

### [人生、山あり谷あり]

人の真の値打ちは逆境にある時の行動で發揮される。苦しい状況にあっても真摯な態度で務めを果たせ。君を評価してくれる人は必ず傍にいるのだから。

## 卒業生に贈る言葉

生物工学科 5年 担任 最上 則史

5年生ならびに専攻科2年生の皆さん、卒業・修了おめでとうございます。

私がこの高専に着任してから早や3年が過ぎようとしています。その間、皆さんと過ごした日々は数々の思い出に彩られています。特に、進路決定に至るまでの道程においては、一人ひとりに様々なドラマがありました。自分の意見や考えを纏めて、苦勞しながらも相手に伝えようとする真摯な姿をずっと見続けてきましたが、進路を模索する為に費やした時間は、何物にも代え難い貴重なものになったことでしょう。

学生生活で学んだ知識や礼節などの基礎力は勿論重要な事です。しかし、それ以上に、皆さんをサポートしていただいた方々との関わりにおいて、数多くの経験値を積み上げて来たことが大きな財産となっているはずです。いつの日か、皆さんが後輩へ大切な何かを教える立場になった時には、それらを胸を張って伝えられるよう心より祈っています。



## 卒業おめでとうございます

機械電気工学科 5年 担任 田中 禎一



5年機械電気工学科卒業生の諸君、卒業おめでとうございます。これから社会に羽ばたいていく君たちの人生に少しでも関わりが持てたことをとても誇らしく思っております。

現在、日本経済の先行きにはとても不透明感が漂っています。この不透明感を払拭するには、科学技術立国の立役者である君たちエンジニアが頑張らなければなりません。君たちは若くバイタリティーがあり、そして何よりエンジニアとしての基礎知識と素養を合わせ持っています。他人の目を気にせず無我夢中で仕事に取り組んでください。そうすれば必ずや社会に貢献できる何か、そして自分の糧となる何かを掴むことができるはずです。

皆さんの活躍に期待しています。

## 楷の木とニュートンのリンゴの木

情報電子工学科 5年 担任 磯谷 政志



正門の左右と裏門横にある楷の木は、楷書の語源になった聖木で、学問の木と謳われる珍しい木です。雌雄両方がそろっているのは国内でも数カ所しかありません。

皆さんの入学から卒業までの5年間を見守ってくれた楷の木は、八代高専初代校長の清田堅吉先生が、実社会で活躍する卒業生に夢を託して苦勞して入手され、昭和五六年に植樹されたものです。30年を過ぎる頃から急激に大きくなるとのことですので、これからの楷の木の成長が皆さんの活躍を表しているようで楽しみです。

玄関左にはニュートンのリンゴの木が植えられています。熊本高専の設置を記念して東京大学研究科附属植物園から寄贈されたものです。ニュートンが「万有引力の法則」発見のヒントを受けたというエピソード持つ生家にあったリンゴの木の子孫木です。

願わくば10年後、新しい環境で更なる活躍をしているであろう諸君と、紅葉美しい楷の木の下でニュートンのリンゴを食べながら、名刺交換をしたいものです。



## もうすぐ卒業する私

情報工学科5年 ウォンソンサイ ウィラユツ



私はいよいよ卒業します。なぜかこの時期に入ると、学校の色々なものが今までより愛しく感じます。友達との話がいつもより楽しく感じたり、授業が面白く感じたり、チャイムの音が音楽に聞こえたり、あまり見なかった学校からの空も歩く中に止まって見たりします。

一方、この学校で過ごす当たり前のような毎日もうすぐ終わると考えると、なぜか寂しく感じます。

ここで、私から皆へのメッセージです。お世話になった先生と学生課の方々へ「ありがとうございました。この数年お世話になりました。」。

友達たちへ「この数年とても楽しかった。私たちが一緒に過ごした時間を自分の宝物にするよ。これからも頑張る。いつかまた会おう。」。

好きになった人へ「生まれてくれて、そして出会ってくれて、ありがとう。君の事が大好きです。」。

## 高専での3年間

情報電子工学科5年  
バータルスレン ムンフドルジ



私は、世界のトップを走る日本の技術に魅了され、4年前に母国モンゴルを出て、日本に留学しました。平成22年4月に情報電子工学科3年に編入学しました。初期の頃は、八代弁と蒸し暑い夏の日に困っていましたが、今は全く問題なく馴染んでいます。3年生の時は、主に情報電子工学基礎実験や複合セミナー等に力を入れました。勉強以外に部活動や高専際、球技大会といったイベントも楽しむことが出来ました。4年次には、3年次より多くの専門科目を勉強し、忙しく過ごしました。

忙しいと感じながら工場見学、球技大会等を通して、クラスの皆と親しくなった時期でもあります。

その翌年は進路を決める事と課題研究があり、皆にとって最も大事な1年となりました。私は、進学の方を選択し、大阪大学工学部に編入学することになっています。高専の3年間に身に着けた基礎的な知識を基に今後の研究に上手く取り組む事が出来ると思っています。

## Future

電子情報システム工学専攻2年 森 恒成



「運命は神の考えることだ。人間は人間らしく働けばそれで結構である。」これは夏目漱石の言葉です。みなさんは、ここ熊本高専に入学した事について、どのように考えていますか？私の周りでは、「普通の高校に行っておけばよかった。」と言う人もいれば、「高専でよかった。」と言う人もいます。私は後者で、高専に入学してよかったと思っています。

ふと考えてみると、私は中学生のとき、どこで高専ことを知ったのだろうと思います。中学生の時の自分に聞いてみたいですが、いずれにしても、高専の情報をどこかで得て、受験できたことは、幸運だったと、今では思っています。

人生には幸、不幸というしかないような運命というものがあるかもしれません。それでも、予想のできない運命を考えるより、今できることを精一杯やって、楽しみながらいきたいと思います。

## 7年間を振り返って

生産システム工学専攻2年 石松 和晃



私は7年前の春、阿蘇のド田舎南小国からこの八代の地へやってきました。高専では寮に入りました。中学校でも寮生活を送っていたので寮生活は10年目の大ベテランです。寮では他学科の人とも仲良くなれてよかったです。けれどさすがに7年間もいと飽きます。

7年間という月日は長いようで振り返ってみると短く感じます。どれだけ後悔なく過ごせるかが大切だと思います。やりたいことは若いうちに思い出を作っておくべきです。時間は待ってくれません。私はもっといろいろチャレンジしとけば良かったと後悔しています。この高専生活でどれだけ精神的に成長できたかで将来が変わってくると思います。

最後にお世話になった皆様、本当にありがとうございました。



## 「技術立国日本のエンジニアに！」

熊本キャンパス同窓会会長 森川 卓亮



熊本高専を卒業される卒業生・修了生の皆様、「ご卒業」おめでとうございます。

今まで、日本全体が東日本大震災以降、円高や韓国・中国企業の躍進などで、閉塞感に満ち溢れていました。これからは、政治も変わり、円安となり、少しは光が射して来ているように思えますが、まだまだ厳しい状況が続いています。企業も、エンジニアを教育する余裕が無いのが、実情です。また、技術の進歩は、今まで以上のスピードで進化しています。こういう時代には、自ら進んで、常に新しい技術を学び続ける事と、何事にもチャレンジする事が、大切となってきます。そのようなエンジニアにより、技術立国日本が成り立っています。

また、熊本キャンパスは、古くからの伝統ある高専で、諸先輩の方達が、素晴らしい歴史を築いて来られました。卒業される皆様が活躍され、さらに熊本高専の名を高められる事を、期待しています。

## 遠近観をもった技術者に

電子情報システム工学専攻長 三好 正純



ご卒業・修了おめでとうございます。学校生活はいかがでしたか。

私は日曜日夕方の「ダーウィンが来た！」というテレビ番組が好きで、よく観ます。さまざまな動物の行動が生き生きと紹介されます。その中で決まって出てくるシーンの一つに巣立ちがあります。鳥類や哺乳類など、どの動物も巣立ちの瞬間は、頼りなく、愛らしく、つい「がんばれ」と声をかけたくくなります。しかし、その直ぐあと、自慢気に余裕を見せる姿は清々しく、遅しく、いつも心打たれます。

さて、みなさんもこれから巣立ちです。技術者の世界が広がっています。技術の世界に国境はありません。新しい技術はまたたく間に世界へ広がります。常に遠く世界を視野に入れた技術者であってほしいと思います。しかし、新技術は往々にして身近なところにヒントがあつたりします。日々の小さなことにも目を向けたいものです。

これから新しい生活が始まります。遠近観をもった技術者として遅しく羽ばたかれることを楽しみにしています。

## 卒業、おめでとう！

八代キャンパス同窓会会長 亀田 英雄



卒業生・修了生の皆さん、この度は誠にありがとうございます。心からお祝いと労いを申し上げます。そしてこれから同窓生としてのお付き合いを末永く、宜しくお願いします。

これから就職・進学とそれぞれ進路は違いますが、それぞれの道をしっかりと歩んで欲しいと願っています。

あなた達はいま人生の中で最も輝いている時期だと思います。大事な時間です。無用な格好をつけることは何事ありません。決して安易に流されることなく、自分の気持ちに素直に行動し、これまで培った確かな視点で社会の信頼を得て下さい。その行く先が如何に困難であろうと、毅然と向き合い、果敢に挑戦し乗り越えていてもらいたいと思います。そして大きく羽ばたいて下さい。

期待しています。頑張ってください。

## 修了するみなさんへ

生産システム工学専攻長 木場信一郎



平成24年度修了生のみなさん修了おめでとうございます。専攻科の修了というハードルは、決して低くはありません。これをクリアしたみなさんは、熊本高専

の教育プログラムの修了生であることを自覚し、それぞれの立ち位置で活躍されるであろうことを願っております。ものづくりを目標とするエンジニアリングは、科学に根ざした基礎力と得意とする専門工学の基礎力・実践力が源になっています。これらの基礎力を身につけたみなさんが、それぞれの持ち場でその発展に自らが寄与する覚悟を持ち続けるならば、「ものづくりのイノベーションを担い、支えることのできる人材」として、認められることと思います。「大局着眼、小局着手」を積み上げたみなさんに、その時が訪れるのを楽しみにしてメッセージとします。



# 進路のまとめ

学生主事補(進路担当) 縄田 俊則



本科卒業生ならびに専攻科修了生のみならず、ご卒業、ご修了、おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

今年度の進路についてですが、就職戦線の厳しさが連日のように報道される中、学生一人一人の頑張りはもちろんのこと、本科においては各学科長や担任の先生方、専攻科においては専攻長や各指導教員など多くの教職員のご尽力により、十二月末現在、本科就職内定率九七・五%、本科進学内定率九八・五%、専攻科においては、就職、進学共に一〇〇%の内定となりました。同時期の大学卒業生就職内定率は、前年比三三ポイントの改善が見られたものの七五・〇%にとどまっております。本校の内定率は例年通り極めて高い結果となりました。

進路の状況について、内訳を少し詳しく見てまいりますと、まず本科においては、就職者数

が過去二年と比較して若干の減となった分、進学者数が微増となりました。就職先の業種別傾向は例年と似た状況になつていますが、情報通信業への就職が例年より若干多めになりました。地域別の状況はほぼ例年通りとなりました。進学については、過去二年三十二名進学した本校専攻科に、今年度は四十名進学し、専攻科の人氣が例年以上に高まった結果となりました。

一方、専攻科においては、就職と進学の割合はほぼ同数で、昨年と比較して、進学の割合が増す結果となりました。特徴的な状況として、九州大学大学院への進学者が十名おり、多数九州大学へ進学する状況が今年度も引き継がれた結果となりました。

昨年六月、卒業生主催の進路相談会が本校で開催されました。主催した卒業生は皆見違えるほど成長しており、頼もしく感じました。今年卒業する皆さんは、少なからず不安を持つているかと思いますが、皆さんの先輩方は各方面で活躍しています。恐れることなく大きな一歩を踏み出してください。

■表3 平成24年度本科卒業生就職先一覧

〈平成25年2月1日現在〉

企業等	学科名				合計
	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	
旭化成	1	1			2
アドヴィックス		1			1
アドソル日進				1	1
アドバンテスト		1			1
アルファシステムズ	1				1
エステンナイン京都				1	1
NTT コム ソリューション&エンジニアリング				1	1
NTT データ	1				1
エヌ・ティ・ティ ネオメイト				1	1
MHI コントロールシステムズ			1		1
花王			1		1
関西電力			1		1
キャノン		2			2
キャノンアネルバ			1		1
キャノンマーケティングジャパン	1				1
九州電力		1			1
京セラコミュニケーションシステム	1				1
熊本日日新聞社	1				1
KDDI エンジニアリング	1				1
コニカミノルタビジネスソリューションズ				1	1
ゴージャス			1		1
JCNくまもと				1	1
ジェイベック		1			1
システムバンク九州共同センター			1		1
セイコーエプソン			1		1

■表1 平成24年度専攻科修了生就職先一覧

〈平成25年2月1日現在〉

就職先	地域		人数
東京エレクトロン九州	熊本	九州	1
三菱テクニカ	神奈川	関東	1
ソフトバンクグループ	東京	関東	1
中外製薬工業	東京	関東	1
オムロン阿蘇	熊本	九州	1
ドコモエンジニアリング九州	福岡	九州	1
日本アルゴリズム	東京	関東	1
構造計画研究所	東京	関東	1
オムロンリレーアンドデバイス	熊本	九州	2
富士通	東京	関東	1
野里電気工業	大阪	関西	1
オオクマ電子	熊本	九州	1
太陽精機	京都	関西	1
シーメンス・ジャパン	東京	関東	1
トヨタテクニカルデベロップメント	愛知	東海	1

合計16名(内女子1名)

■表2 平成24年度専攻科修了生進学先一覧

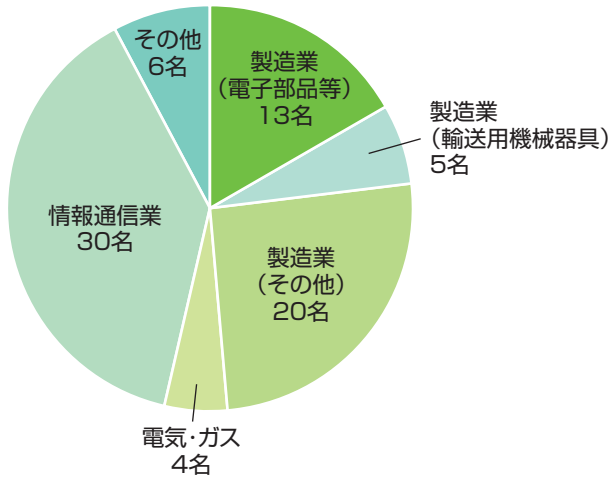
〈平成25年2月1日現在〉

就職先	地域		人数
筑波大学	茨城	関東	2
奈良先端科学技術大学院大学	奈良	関西	2
九州大学大学院	福岡	九州	10
熊本大学大学院	熊本	九州	1

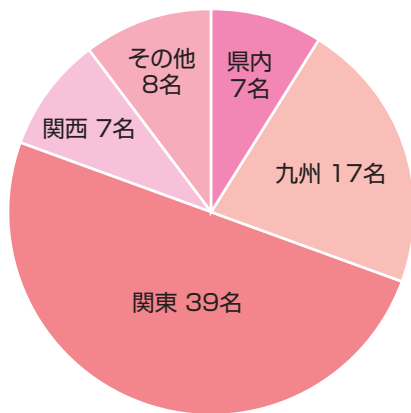
合計15名(内女子0名)



■表4 本科卒業生就職者数内訳(業種別)



■本科卒業生就職者数内訳(地域別)



■表5 平成24年度本科卒業生進学先一覧

〈平成25年2月1日現在〉

大学等名	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
豊橋技術科学大学	2			1	3
福島大学				1	1
信州大学				1	1
茨城大学				1	1
千葉大学		1		1	2
東京農工大学			1		1
岡山大学				1	1
徳島大学		1			1
九州大学			2		2
大分大学		1			1
熊本大学	1	3	2		6
宮崎大学			1		1
鹿児島大学		1			1
琉球大学		2		2	4
熊本保健科学大学				1	1
アカデミー・オブ・アート大学(米国)				1	1
熊本高専専攻科	15	6	6	13	40
合計	18	15	12	23	68

企業等	情報通信工学科	電子工学科	電子制御工学科	情報工学科	合計
西部電気工業	1	1			2
ソフト九州				1	1
ダイキン工業	1				1
ダイキンファシリティーズ		1			1
太陽精機			1		1
大和製罐		2			2
タカハタプレジジョンジャパン		1			1
中部電力		1			1
デザインネットワーク		1			1
TDC ソフトウェアエンジニアリング				1	1
東海旅客鉄道		1	1	1	3
東京エレクトロンFE	1	1			2
ドコモ・エンジニアリング関西				1	1
東芝エレベータ		1			1
TOTO		1			1
ニコン	1				1
西日本高速道路エンジニアリング九州				1	1
日本空港テクノ		1			1
日本ビジネスエンジニアリング				1	1
ニューコ・ワン				1	1
日立アロカメディカル		1			1
日立オートモティブシステムズ阪神		1			1
日立ビルシステム		1			1
平田機工		1	1		2
富士精工		1	1		2
富士ゼロックス		1			1
富士ゼロックスアドバンステクノロジー		1			1
富士ゼロックス福岡				1	1
富士通	1				1
富士通九州ネットワークテクノロジーズ			1		1
富士電機			1		1
富士古河E&C			1		1
本田技研工業			1		1
三井ハイテック		1			1
三菱重工業長崎造船所			1		1
三菱電機エンジニアリング	1				1
三菱電機コントロールソフトウェア	1				1
三菱電機システムサービス			1		1
安川エンジニアリング			1		1
ヤマハ発動機		1			1
吉野工業所			1		1
リテラ・システムズ				1	1
リンクテクノロジー				1	1
Y2S		1			1
合計	14	29	19	16	78

# 進路のまとめ

進路支援室 小林 幸人

平成二十四年度本科卒業生、専攻科修了生のみなさん、御卒業、修了おめでとうございます。みなさんと、みなさんを支えてこられた保護者の方に、心よりお祝い申し上げます。新たな道を力強く進まれることを期待いたします。

近年の世界情勢はめまぐるしい変化を見せ、わが国を取り巻く環境も激変しています。政権交代後の日本経済がどのような状況を迎えるのか分かりませんが、いずれにしても、これから必要となるのは状況の変化に対応できる柔軟性と、それを裏付ける実力だろうと思われまます。

今年度の就職状況に目を転じると、求人数に若干の変動はみられましたが、依然として高専卒業生・修了生に対する社会の評価は高いと感じています。しかしながら、学生諸君の就職活動状況をみると、苦戦する者が少なからずいたように思います。自らの将来についてしっかりとした考えを持ち、学生時代に様々な経験を通じて自らの力を身につける、そのことが何より重要であると、改めて感じたのではないのでしょうか。

近年、高専、大学などの高等教育の在り方が、改めて議論されています。知識や技術を身につけるだけでなく、それらを用いる力としての資質、態度、考え方、人との関わり方、それら全てを含めた学びの重要性が指摘されているところです。これらの学びは、学校卒業後も続いていきます。大切なことは、常に自らを向上させようとする意思とそれを実現するための力です。

就職し、企業の一員として職務を担う方は、働くことを通じて自分の生活を充実させるとともに、他人、社会に貢献できる人材となつてください。進学する方は、改めて、何のために学び、将来何を実現したいのかを意識してください。在校生のみなさんは、卒業・修了する先輩の背中をみながら、自分の力をより向上させるための学びを実践してください。

変化する時代、これからの社会を作るのはみなさんです。ご活躍とご多幸を心より祈念いたします。

■表1 平成24年度専攻科卒業生就職先一覧

企業等	学科名				合計
	生産システム工学専攻(電気)	生産システム工学専攻(機械)	生産システム工学専攻(建築)	生産システム工学専攻(生物)	
旭化成株式会社	1	1			2
アステラス製薬株式会社				1	1
石田エンジニアリング株式会社	1				1
エヌ・ティ・ティ・インフラネット株式会社			1		1
株式会社NTTドコモ		1			1
株式会社MH   システムコントロールズ		1			1
オオクマ電子株式会社		1			1
オムロンフィールドエンジニアリング株式会社		1			1
一般財団法人 化学及血清療法研究所				1	1
九州旅客鉄道株式会社			1		1
光進建設株式会社			1		1
五洋建設株式会社			1		1
株式会社資生堂				1	1
ジャパンマリンユナイテッド株式会社	1				1
TANAKA ホールディング株式会社	1				1
東燃ゼネラル石油株式会社	1			1	2
株式会社東洋新薬				1	1
戸田建設株式会社			1		1
株式会社中村電機	1				1
西日本旅客鉄道株式会社			1		1
日信ITフィールドサービス株式会社		1			1
日鉄住金パイプライン&エンジニアリング株式会社			1		1
富士電機株式会社	1	1			2
防衛省地方防衛局 (一般 (技術職))			1		1
松合食品株式会社				1	1

■表2 平成24年度専攻科卒業生進学先一覧

企業等	学科名				合計
	生産システム工学専攻(電気)	生産システム工学専攻(機械)	生産システム工学専攻(建築)	生産システム工学専攻(生物)	
美里町役場		1			1
株式会社明治 九州工場	1				1
株式会社 明治			1		1
メタウォーター株式会社	1				1
株式会社安川電機	1				1
合計	10	8	8	7	33

大学等名	学科名				合計
	生産システム工学専攻(電気)	生産システム工学専攻(機械)	生産システム工学専攻(建築)	生産システム工学専攻(生物)	
北九州市立大学大学院		1			1
九州工業大学大学院	1				1
九州大学大学院			2	1	3
筑波大学大学院		1			1
奈良先端科学技術大学院大学		1			1
北陸先端科学技術大学院大学	1			1	2
合計	2	3	2	2	9



企業等	学科名	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科	合計
株式会社富坂建設				1		1
株式会社トヨタプロダクションエンジニアリング		1				1
西技工業株式会社				1		1
西日本高速道路株式会社				1		1
西日本旅客鉄道株式会社				1		1
日特建設株式会社				1		1
株式会社日本港湾コンサルタント				2		2
株式会社日本触媒					1	1
日本たばこ産業株式会社			1			1
フジテック株式会社			1			1
富士電機株式会社		2				2
株式会社富士ピー・エス				1		1
フジブルーフ工専有限会社			1			1
株式会社前川製作所	1					1
前田道路株式会社				1		1
松尾建設株式会社				1		1
丸善石油化学株式会社					1	1
株式会社三井三池製作所	1					1
三菱ガス化学株式会社					1	1
三菱重工業株式会社 高砂研究所	1					1
三菱重工業株式会社 長崎研究所	1					1
三菱電機株式会社 長崎製作所	1					1
株式会社明治	1				1	2
株式会社明電舎	1					1
メタウォーター株式会社	1	1				2
株式会社森精機製作所	1					1
株式会社森本組				1		1
八代市役所				1		1
八代飼料株式会社			1			1
山崎建設株式会社	1					1
株式会社ヤマックス				1		1
雪印メグミルク株式会社					1	1
株式会社リコー	1					1
若築建設株式会社				1		1
和久田建設株式会社				1		1
合計		26	24	25	26	101

■表4 平成24年度本科卒業生進学先一覧

大学等名	学科名	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科	合計
愛媛大学					1	1
大阪大学			1			1
金沢大学		1				1
九州工業大学			1			1
熊本高専専攻科		7	6	5	6	24
熊本大学			1	1		2
佐賀大学		1				1
千葉大学				1		1
電気通信大学			1			1
東京農工大学					1	1
豊橋技科大学		1				1
ノートルダム清心女子大学					1	1
その他(各種学校進学等)			1			1
合計		10	11	7	9	37

■表3 平成24年度本科卒業生就職先一覧

企業等	学科名	機械電気工学科	情報電子工学科	土木建築工学科	生物工学科	合計
アイシン精機株式会社		1				1
株式会社アルファシステムズ			1			1
出光興産株式会社		1				1
株式会社エイアンドティー					1	1
株式会社NTTコムソリューション&エンジニアリング			1			1
株式会社NTTファシリティーズ九州		1	1			2
株式会社荏原製作所			1			1
エムエステック株式会社				1		1
大阪シーリング印刷株式会社			1			1
株式会社ガイアートT・K				1		1
花王株式会社					2	2
株式会社カネカ					1	1
関西電力株式会社		1	1			2
九州電力株式会社		1		1		2
九鉄工業株式会社				1		1
株式会社九南			1			1
京セラ株式会社 鹿児島川内工場			1			1
協和発酵バイオ株式会社					2	2
極東石油工業合同会社		1			2	3
キンビール株式会社 福岡工場		1				1
グッドハート株式会社			1			1
熊本県庁				1		1
熊本高等専門学校			1			1
熊本製粉株式会社		1				1
サイバーコム株式会社			1			1
サッポロビール株式会社					1	1
サントリープロダクツ株式会社			1			1
株式会社シークス			1			1
JA 八代農業協同組合				1		1
JX 日鉱日石エネルギー株式会社		1				1
昭栄化学工業株式会社					1	1
株式会社未松電子製作所			1			1
住友化学株式会社		1				1
株式会社総合技術コンサルタント				1		1
第一三共プロファーマ株式会社		1			1	2
第一精工株式会社		1				1
ダイキン工業株式会社					1	1
タカハタプレジジョンジャパン株式会社					1	1
株式会社タクマ		1				1
タケシタ調剤薬局株式会社					1	1
株式会社竹中工務店				1		1
株式会社中央					1	1
中外製薬工業株式会社					1	1
株式会社テクノプロ・エンジニアリング			1			1
株式会社デザインネットワーク			1			1
東燃ゼネラル石油株式会社					2	2
東豊工業株式会社		1				1
東洋インキSCホールディングス株式会社					1	1
東洋インキ株式会社		1				1
東洋建設株式会社				1		1
株式会社東洋新薬		1			1	2
東レ株式会社					1	1

# 退任教職員からのメッセージ

## 高専で過ごしして

生物化学システム工学科 金田照夫

「用不用説」というラマルクの提唱した進化概念がある。これは「生物にもともと備わっている器官でも、使用頻度が低ければ次第に衰え退化する。逆に、頻繁に使う器官は次第に発達する」といった考えで、ダーウィンの進化論よりも古くに提唱された。ラマルク説には、生物自身の主体性が進化の方向を決めるという考えと獲得形質の遺伝が含まれるが、偶然の中立的な遺伝子変異と環境からの淘汰圧による適者生存を進化の原動力と考える現在の進化論研究では、ほとんど否定されている。

この三月末に二十年間勤務した八代Cを満了する。企業から八代Cに赴任した当初、大学とも高校とも違う高専という組織に戸惑い、何を目標にして、どこに軸足をおけば良いのかと試行錯誤した記憶がある。ある先生から「高専は高専なのだ」と禅問答のような話を聞き、ますます困惑した事もある。企業では、何が会社の柱で、何処に向かうのが、もちろん時と共に変化するのは当然だけれど、誰もが共有できる形で示され、常に目や耳や膚で感じられた。だから、色々な用務に簡単に優先順位がつけられ実行しやすかった。ここ

ろが、学生がいて教育体制があつて、そこに教師が存在するのだけれど、不思議なことに学校ではこれが一番曖昧だった。総意を得ていると思われた事でも、各人微妙に解釈が異なり、変節してしまう事も多かった。各種委員会等の責任者の価値観のゆるい平均値として学校の規範が獲得されるが、それは遺伝せず、結局は個人の資質や情熱、価値観に教育が任せられているとも感じた。

教育の中には建前として守らねばならない事があつて、それを実践するには少なからぬエネルギーが必要になる事も多いと思う。エネルギーが必要な事は、本音では面倒でやりたくない事になり、用不用説的な進化圧に晒されて本来備えていなければいけない事までも退化するかも知れない。これから熊本高専はどんな進化の方向性をとるのか、ラマルク的なかダーウィンのか、こんな事を夢想しながらこのキャンパスとはお別れです。長い間お世話になりました。



## お褒めの話(熊本)

技術センター(熊本キャンパス) 桑波謙史

定年退職後も再雇用で四年間の学校生活を送らせていただきました。長い長い仕事の道のりをここで過ごせたのは幸せでした。

学校という職場はある意味、置いてきぼりを味わう仕事場だと感じていました。目の前を次々に新しい学生が現れ、そして去って行きます。寂しさが毎年毎年繰り返され、目まぐるしく変化する職場でした。

こんな中、多くの趣味を持つことでその気を紛らわして来ました。特に、楽器演奏や水彩画、オートバイ・自転車・軽飛行機の操縦等を通してたくさんの事を学び、多くの人に会うことが心の支えになりました。中でも、特に伝えておきたいことが軽飛行機の操縦訓練です。最初は空に飛び出すだけで極度の緊張です、右隣に教官が居ますので安心感も芽生えてきて次第に空間識が身についていきます。操縦桿は左右に同じものが有り、同じ動きをします。離着陸の訓練(タッチアンドゴー)や航法訓練等を行いながら教官は次第に操縦桿を訓練生に任せていきます。私もこのことにはある時期まで全く気付きませんでした。そのある時期が突然来ることになりました。

それは単独飛行です。教官がタッチアンドゴー終了後、エプロンに帰着して「これから二人でタッチアンドゴーを3回して来なさい。フライトプランは出して有ります。」と言うのです。突然緊張が走りますが行かなければなりません。タワーから「Cleared for taxi to T4 Hold short of Runway25」と急かします。たった一人で飛び立つ大空がそこにあります。

「Good luck!」

実験でしか接触のなかった、それも一部の学生さんしか知りませんが、もつと時間が有れば楽しい趣味の話でもしたかったなーと思います。

皆さんも自分の感性をはぐくむ趣味を持たれることを勧めます。沢山あればある程、人生の多様な場面で彩りを添えてくれると確信します。挑戦してみてください。





# 退職に寄せて

看護師(八代キャンパス) 反頭 昭子



京都にて

今、暖かな日差しのある保健室にいます。「全国高専の中でも、明るく、とても広い保健室である。」と先日、来校された外部の方から褒めて頂きました。「学校の一番良い場所に」とこの保健室を設置させて頂きました。

ところで最初の保健室が何処にあったか、ご存知ですか?それは、管理棟の現在の二階の1BCの教室の半分のスペースでした。二階の学生課に在席し、学生が来室後、鍵を持って、保健室に行き処置をしていました。次の場所は、現在の管理棟階の講義室にいました。その部屋では、遅刻者や早退者の出入り口に近いため、よく窓を開けて、そこを通る学生さんに話しかけ、保健室に逆戻りをさせていました。そして、最後に現在の龍峰会館の中に保健室を設置して頂きました。この保健室での業務は、かなり、楽チンでした。健康診断のキャッ

チフリーズ「通行人、貴方が頼りの保健室」と勝手に言いつつ、売店や学食に来た学生さん達に声を掛けると必ず、誰かが健診の準備を手伝ってくれ、準備の時間が大幅に短縮できました。

もうひとつの思い出は、開校後、まもなく精神科医や心理士の先生方による「学生相談」を開始したことです。これは、初代校長の清田堅吉先生による発案でした。当時は、珍しい事だったかもしれませぬ。学校での精神医療の先駆けに取り組ませて頂きました。

学業の壁は、時に高いと感じる時もあるかと思いますが、その若さで乗り切って下さい。友達や先生方の力を借りて、そして、又力になって。この保健室で多くの方々とお出逢いしました。とても深い愛情を持たれていた保護者からは子どもを思う親の熱く深い気持ちや、また友達を思う学生さんの温かな眼差し等、心に触れるものがとても多かったと思います。本当に保健室で過ごした時間は、あつという間でした。いつまでも、温かな気持ちや眼差しが、行き交う学校であり続けて欲しいと心から願っています。皆様のご支援、ご協力、本当に有難うございました。

# 熊本高専での二年間

共通教育科 東田 洋次



あつという間の二年間だったように感じます。香川高専から人事交流により赴任し、両キャンパスで物理の授業を担当しました。新たな環境で今までにない経験や発見をした有意義な二年間でした。その中で一番の収穫は、やはり人との出会いです。授業やクラス担任だけでなく、いろいろな場で多数の学生や教職員のみなさんと出会うことができました。特に、熊本高専サイエンスチャレンジと銘打って、他の先生や学生と一緒に太陽光熱気球を上げたり、イルミネーションを作ったりと貴重な経験をして、楽しい思い出となりました。まだまだ、熊本高専でやりたいこともありませんが、四月には香川高専に戻り、香川の学生とまた新たな事にチャレンジしようと思います。みなさんも探究心・好奇心を持って何事にもチャレンジし、人や物事との新たな出会いを見つけてください。みなさんの今後の活躍を楽しみしています。では、またいつかお会いできる日まで。

# 教職員退職者一覧

## 定年退職者

- 校長 宮川 英明
- 教授 ※小原 康博
- 教授 ※河崎 功三
- 教授 ※福田 泉
- 教授 ※大河内康正
- 教授 ※神田 一伸
- 看護師 反頭 昭子

(※四月から再雇用職員)

## 再雇用期間満了退職者

- 特任教授 金田 照夫
- 嘱託教授 内山 義博
- 嘱託教授 井上 勲
- 嘱託准教授 橋本 俊裕
- 事務職員 宮崎顯次郎
- 技術職員 桑波 謙史

## 雇用期間満了退職者

- 有期雇用職員 上甲 勲
- 有期雇用職員 三島淳一郎

## 自己都合退職者

- 助教 滝 康嘉

## 学生会・寮生会報告

## 新学生会長になつて

学生会長(熊本キャンパス)

情報通信工学科四年 緒方拓斗



この学校に入学してから四年が過ぎました。入学した当初はまさか自分が会長になるなんて思いもしていませんでした。そんな自分が今回このような立場になることができたのも多くの人の支えがあったからです。この場をお借りして、お礼申し上げます。ありがとうございます。

平成二十五年度は、前年度に比べ、より忙しい年度になります。忙しいながらも、学生一人ひとりが充実した学生生活を送ってほしいと思います。そのためには、いかに自分が、学生会が動いていくかが重要になります。そのことをしっかりと考え、よりベストな判断を下していきたいです。今年度の学生会は校内だけに限らず校外でも積極的に活動していこうと思っています。学校だけでなく地域社会にも貢献していきたいと思います。また、電波高専として入学した学生は私たちが最後になり、次の代は熊本高専として入学してきた学生たちにな

ります。やるべきことをしっかりと行い、最高の形で次にバトンを渡せる、そんな一年にしていきたいです。

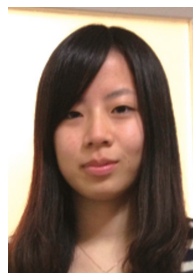


平成 25 年 高専交流会

## 寮生会報告

明和寮女子寮長(熊本キャンパス)

情報通信工学科四年 山隈みゆき



今期は「当たり前前のことを当たり前にする」という目標のもと寮役員は活動しています。寮は基本的な生活習慣や学習習慣を身につける場所です。その集団生活の中でお互いに相手の立場を尊重し、寮生全員がより住みやすい場所にするためにもこの目標はとて

も大事なものとします。その為、時に場所、場合に応じた方法や態度に気をつけて欲しいと思っています。具体的には自らすすんで挨拶をする、ドアを閉める時の音に気をつけるなど当たり前前のことです。しかし、これらは寮に住んでいるからこそ気遣うことです。このように寮生活の中で人を気遣った行動が習慣付くことは寮生であるメリットの一つです。全員がこの目標を再認識し、よりよい寮を作っていきたいと思っています。

また、今期は例年より多く、寮内イベントを開催しています。定期的に開催していた映画鑑賞会やクリスマスパーティーやスポーツイベント

トに加え、今まで春季のみに行っていたバーベキューを十一月にも行いました。寮生全員で参加する寮内イベントが増えることは普段はあまり関わりのない先輩や後輩と交流することが出来る良い機会となります。今後も寮生全員が楽しめるようなイベントを目指し、開催していきます。

一年生から寮で生活し、寮役員の一員として活動するの四年目となりました。学年を重ねることに責任は重くなり、寮長となりました。その責任はより重くなりました。寮内の課題点を改善したり、イベントを開催したり、すべての寮内行事に携わっています。年々寮生の数が増えつつありますが、今後も寮役員で協力し寮全体をまとめていき、寮生全員が「寮生でよかった」と思える魅力的な寮作りができればいいなと思っています。学生ならびに保護者の皆様のご協力をよろしくお願いします。





### 会長としての一年

学生会長(八代キャンパス)  
情報電子工学科四年 加々見 征弥



昨年十二月に引き継ぎ式も終わり、いよいよ新体制が始まるころです。一年前の自分も、不安や責任感がありました。それよりも「自分が新しいことにチャレンジしてやるんだ」という希望を持っていました。まず最初の仕事は入学式で式辞を読むことでした。春休みに歴代の式辞を参考にし、先生に添削していただき、何度も書き直しました。多少噛みましたが、一人でも多くの一年生に思いが伝わればと力を込めて読みました。初めてだったので印象に残っています。

またビックイベントの高専祭を成功させるため、リハールを毎日行なうて完成度を高めたり、周辺のお店などにポスター掲載の依頼をして回り、スポンサー確保のために早くから動き出していました。高専祭実行委員のみんなも忙しいなか、リハールや企画の準備のために時間を割いてくれたおかげで、無事に成功しました。他にも劇団「風」、

JAXA、後援会など、正直こんなに多くの人が高専祭のために頑張ってくださっているとは思わなかった。責任もやりがいもあつてとても楽しめました。

行事以外の普段からも何か取り組みをしたいと思っており、アンケートと新聞に新しく挑戦すると公約に掲げました。定期的に行なう予定が、私用や準備に手間取ってしまい、なかなか思うようには進まなかつた事は迷惑をかけたと思うし、残念でしたが、アンケートでの二味違った意見アイデアや新聞を楽しむにしてくれる人がいた事など収穫も多くあつたのでやったことに意味はあつたのかなと思います。

今思うことは、最初に持っていた希望の「自分が」には大きな間違いがあつたなと思います。自分一人ではなく皆が支えてきてくれたからこそ、何事もやってこれたんだと分かっているつもりでしたが、改めて考えさせられた貴重な経験でした。この経験を忘れずにこれからも頑張っていきたいと思えます、ありがとうございます。

### 寮長としての抱負

八龍寮寮長(八代キャンパス)  
機械電気工学科四年 鍛 勇己

みなさん、こんにちは。熊本高専八代キャンパス八龍寮寮長になった四年機械電気工学科鍛 勇己です。二年生のころから八龍寮に入寮し球技大会などのたくさんの思い出があり、また、友達や先輩、後輩などとの出会いがあつたこの八龍寮の寮長になることができて大変うれしく思います。同時に、前年度の寮よりも良くなるかというプレッシャーも感じています。

さて、寮生活は通学生に比べて自由がありませんが、同級生との意見交換や他学年との交流、時間を守ることの大切さなどの社会人としてのマナーを学ぶことができ通学生にはなかなかできないさまざまな経験ができます。しかし、私がこの寮に入ってから大変環境が変わりました。その中でも一番変わったのは新入生の寮生活に対する考え方です。

寮生活は集団で生活する場、また学習寮であるならば多少の自由さはあると思います。最近の学生は我慢強くありません。先輩や先生方からの指摘にすぐ不満を言う、あいさつが徹底されないなどがあげられます。しかしこの不自由さを経験したことが社会に出てか

ら役に立つと様々な先輩方の声もあります。そこで、私はこの寮を変えられる立場となつたいま、八龍寮を規律ある寮にしていきたいと思えます。具体的には下級生の指導に力を入れ、寮全体にメリハリのあつた空気を作っていかれたらなと思います。

最後に先生方には隣の熊本キャンパスの寮の視察や他高専の視察などをさせていただきありがとうございます。これからもたくさんの迷惑をかけると思えますが長い目で見てください。こんな寮長ですがよりよい寮を作れるよう頑張っていくのでよろしくお願いします。



H25.1.16 高知高専 切正寮にて

## ロボコン二十五周年で全国準優勝、巡り合わせと課題

機械知能システム工学科 滝 康嘉

MOOSTARチームはTV放映や、号外を始め多くの取材記事があるため、本稿では少し違った視点で全国大会を振り返ってみよう。

今年にはロボコン二十五周年ということで、卒業生の取材も行われた。候補は平成五年に全国準優勝した「DASH」のリーダーで、地域SNS「ころろとやつちろ」を立ち上げた八代市役所の小林さん。収録に先立ち、操縦者だった大下本さんと高専祭で事前取材を受けた。ロボコンで学んだことについて聞かれた二人は、声を揃えて「社会の厳しさ！」と即答された。また、大下本さんは「今でも決勝戦がはつきりと目に浮かぶ。」と旭川高専に敗れた決勝戦を振り返っておられた。

優勝候補と言われるものの、常日頃の様子、全国大会の経験不足からして、どんなトラブルやミスが起こるか分からない。実際、テストランでは充電不足のバッテリーを使うというミスを犯した。また、試合の前からカメラが張り付き、特に伴走者にとっては心身ともに負担が大きかったようだ。

ぎこちないながらも二回戦を終え、準々決勝では最速記録を出すことができた。準決勝は「DASH」の因縁がある旭川高専。接戦ながらも勝利を収めた際には応援席の小林さん

達は大いに盛り上がった。ちなみに今回は多様な世代のOB・OGが駆け付けてくれ、学生達の旅費等でも援助していた。

次はいよいよ決勝戦であるが、赤ゾーンから青ゾーンに変わるため、MOOSTARはセンサーの位置を交換する必要がある。この作業に時間がかかり、決勝戦前のエキシビジョンマッチを二分伸ばしてもらったことになった。また、試合では緊張や疲れのせいかわず、試合では緊張や疲れのせいかわず、個人ボールをこぼして手間取ってしまった。同タイム。その後の第二試合までが問題。両チームともコンプレッサーで空気をためないといけず、各種調整も必要。決勝戦前も余裕がなかったため、ブレイクショット担当者は第二試合直前にトイレに駆け込み戻って来るのがギリ



'93旧八代高専「DASH」の方々  
(左：小林隆生氏、右：大下本 淳一氏)



試合直前の待機場所でも取材を受ける選手達



左上では舞台裏で見守るピットクルーにもカメラが回っている



準決勝前の応援演説。この直後、応援学生は会場を出ることに…。

ギリになり、予備のペットボトルを腰に提げる暇もなかった。後はテレビで放映された通りの結末に…。

ちなみに、何人かの運営の方からは「二戦目は八代の方が早かった」との言葉をいただいた。「ビデオ判定であれば…」との声もあったが、「DASH」の時は準々決勝で誤審により勝ってしまっているため、過去を清算できたと考えれば致し方ないのかもしれない（この経緯は、当時の豊田高専の高専だよりに詳しい）。

この試験期間の問題は本校がより切実で、試験期間真っただ中であった。応援学生は公欠が出ないため、準決勝の応援演説直後に帰路に就くことになった。ロボコンは教育イベントという点で、今回は全国大会に出場できない高専も、教員引率のもと数名の学生がピットや大会を視察できることになっており、地区大会運営を通じて本校の学生達がおおいに刺激を受けたことも考えられると、応援学生の待遇は再考の必要がある。

優勝した関高専も表彰式までの参加は厳しかったらしいが、表彰式まで応援したいと自腹で駆け付けた専攻科生の先輩もいたらしい（正規の日程でない）と援助が出ない。また、大賞の小山高専は大会前日に照明への対応に追われていたが、OBが都内を走り回って物品探しをしてくれたと聞く。強豪ながらもここ数年苦労を続けていた両校であるが、間近で見ると選手達の立ち振る舞いも素晴らしい。栄光は彼らにこそふさわしい。



## 企業説明会

総務委員会(熊本キャンパス) 石橋孝昭

平成二十四年十二月二十八日(水)に熊本キャンパスで、熊本高専地域振興会主催の「企業説明会」が実施されました。熊本高専地域振興会では、人・知物的資源の地域循環型社会の構築を目指し、「教育(人材育成)」、「地域との交流」、「産学官連携・交流」および「熊本高専生の育成」の四つの事業区分を柱に様々な活動を行っていただいております。その一環として、学生のキャリア教育を目的とし、熊本高専熊本キャンパスの本科三年生百三十五名、四年生百七十八名および専攻科一年生三十三名を対象に企業説明会を実施していただきました。

参加していただいた企業は十九社で、企業の担当者から事業の説明や仕事の内容などを提供していただきました。また、当該企業に就職した本校の卒業生も説明に来てくれました。学生は熱心に説明を聞き、説明後に質問をしていました。今回得られた知識を今後のインターンシップや就職へ活かしてくれることを期待しています。



## インターンシップ

### 成果報告会

熊本キャンパス学生主事補(進路担当)

縄田俊則



十二月十日(月)、熊本県民交流館パレア十階パレアホールにおいて、平成二十四年度熊本高等専門学校インターンシップ成果報告会が開催されました。本年度のインターンシップは、例年同様熊本県内外の多くの企業にご協力いただき、本科生は五十五社に八十八名、専攻科生は二十三社に三十二名を受け入れていただきました。

今年度の成果報告会では、宮川校長の主催者挨拶、松本P.B.L.総合教育センター長の概要説明の後、株式会社アシックス田崎公也氏による「ロンドンオリンピックにおけるシューズ製作」と題した基調講演が行われました。講演では、オリンピック選手が使用したシューズの作成に関する技術的内容や苦労話などが貴重な写真や動画とともに披露され、最後には同じ技術者として学生へのエールも送っていただき、非常に興味深く印象に残る内容でした。その後本科生四名、専攻科生六名(うち八代キャンパス二名)、計十名の学生によるインターンシップ成果報告を行い、それぞれインターンシップでの体験を口頭で発表しました。最後に専攻科生によるポスターセッションが開かれ、参加いただいた企業関係者と意見交換を行うなど、有意義な報告会となりました。

## 第四回半導体材料・

### デバイスフォーラム

電子材料・デバイス研究部主任 高倉健一郎



平成二十四年十一月二十三日(金)、宮崎県都城市の都城ロイヤルホテルにて、第四回半導体材料・デバイスフォーラムを開催しました。今回は、都城高専の共催で実施し、高専間の研究分野における今後の連携も期待されるフォーラムとなりました。

本フォーラムは、半導体を中心とした電子材料および関連デバイスの研究者による研究成果を討論するために、昨年度より開催しています。県内外の学術研究者を始め、一般企業などを加えて125名の参加者による研究成果の討論を行うことができました。

学生発表には、口頭二件、ポスター五件の奨励賞を選出しました。うち一件は、本校の専攻科一年生である崎山君で、高専生としては唯一受賞しました。



奨励賞を受賞した崎山晋君  
(熊本キャンパス専攻科1年)

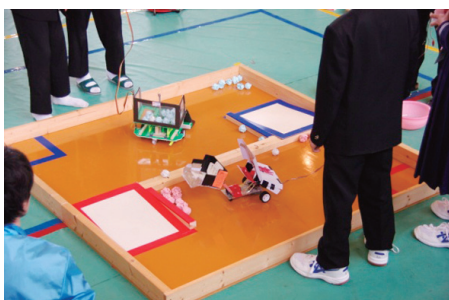
# 熊本県中学生アイデア ロボットコンテスト

総務委員会(熊本キャンパス) 石橋孝昭

平成二十四年十一月十日(土)、熊本高等専門学校熊本キャンパスにて、熊本県中学校教育研究会技術・家庭部会、熊本市技術・家庭科研究会主催の「熊本県中学生アイデアロボットコンテスト」が開催されました。十六回目の今回は授業内部門「Gather & Throw」、授業内部門(チャレンジ部門)「Gather & Throw」、応用部門「フライングゲット」、映像部門「自由な発想のロボット集合」、制御部門「めざせ パーフエクトプログラム」の五部門の競技テーマで、合計七十九チームが出場しました。

競技内容は、時間内に、互いのコート上にはばらまかれた紙アイテムを相手コートに送り合うものや、自陣の色のアイテムを決められたゴールに置くものがあり、生徒は独自のアイデアによる自分たちで製作したロボットを操縦していました。また、センサを搭載した自律型ロボットをスタートからゴールまでアイテムを倒して走行させるプログラムでロボットを制御していました。

会場内はとても白熱しており、目が離せない試合が多く、選手だけでなく来場された応援の皆様も非常に楽しんでいました。



# 「わいわい工作・ 実験フェスティバル」

PBL・総合教育センター委員 吉永圭介

十二月九日、八代キャンパスで「わいわい工作・実験フェスティバル」を開催しました。これは十三年間に渡って開催してきた「わいわい工作・わくわく実験ひろば」の集大成として実施したもので、教職員にボランティアでのブース出展を依頼したところ、全三十四ものブースが揃い、「ミニミニ科学館」をはじめ「グニヤグニヤ風の作製」、「液体窒素実験」、「大気圧でつぶれるドラム缶」、「ピカピカ万華鏡を作ろう」など様々なジャンルの工作・実験が楽しめるイベントになりました。また、やつしろ八童天文台や八代市教育研究会小学校理科部会にも出展していただきました。

当日は朝から小雨が降り、日中も気温が低い悪天候にも関わらず一九七名もの来場者を集め、来場者からは「ブースを廻るのに二日では足りない」等の好評な意見がたくさん寄せられました。参加者は小学校低学年がメインでしたが、いろいろな工作や実験を楽しむことでサイエンスに興味を持った様子でした。

実施にあたり、二〇一名ものボランティア学生が会場の準備、来場者の対応にあたりました。学生も教える喜びを味わい、いきいきとした表情をしていました。出展にご協力いただいた教職員、学生の皆様はこの場を借りて御礼申し上げます。

今年度は初の試みで、まだまだ開催時期等の検討の余地がありますが、今後の発展を期待しております。

# Aalborg (デンマーク) 在外研究報告

専攻科(八代キャンパス) 磯田節子

八月七日朝Aalborg空港着。アルネ先生が迎えに来てくださる。一年五月ぶりの再会。空港から車で約二〇分、大きな川のような美しいリムフィヨルドをわたると中心市街地が広がる。

午後から歩いて研究室へ。アルネ先生の開発と計画学科はリムフィヨルド沿いの再開発地区にある。研究室は四階、これまで細かい手続きをしてきた秘書のAnetteに会う。私の机が用意されていた。夏休中で、数人の教員、PhDフェロウに挨拶、こうしてAalborgの第一日目が始まった。

目的は① Aalborg PBL Modelの調査② 建築学科での実際のAalborg Modelに基づく講義等の調査の大きく二点。主に②に時間をかけた。

結論として、私たちがPBLと呼ぶPBLとAalborg Modelは全く異なるということ。根本的な「学ぶ目的」が全く異なる。即ち「これから一生涯続けるであろう、そのための学び方を学ぶ Learning to learn」。そのトレーニングとして「Project」中心のカリキュラム。Projectとは「人々の社会における望ましい変化を提案すること」。知識の定着を問う筆記試験は一切ない。評価は主に口頭試問。講義はProjectをサポートする二・三科目。全グループのためのスペースが用意され「Study Guide」による詳細で深い学びの指針、資料等は全てネット配信。第一線の建築家による講義も多い。要は「学びは学生自身の責任」。さて、本校での可能性は？ 建築ではProjectは設計、何とか行けそうか。はたして他では？



研究棟とリムフィヨルド



## STRESS

### ■ ストレス解消法

- S… スポーツ**  
いい汗をかきましょう
- T… トラベル**  
自然に親しむ旅
- R… レクリエーションとリラクゼーション**
- E… イーティング**  
食卓を囲む楽しい食事・心のサポートをしてくれる人との交流
- S… シンキング**  
大きな声で歌おう
- S… スマイルとスリープ**  
笑顔と睡眠



看護師(熊本キャンパス) 中西博子

卒業生の皆さま、御卒業おめでとございます。  
高専5年間、専攻科生は、7年間如何だったでしょうか？  
思い起こしてみると、あつという間だったのではないのでしょうか？  
ここで学んだことを活かして、今後の活躍をお祈りしています。  
新たな門出を祝すとともに、これからの社会への旅立ちに心からエールを送ります。  
新たな環境への期待と不安の入り交じる複雑な想いがあることと思います。

出発に先立ち、今後も明るく楽しい毎日を過ごしていくには、心身共に健康が何よりも大事です。  
心身共に健康で過ごすためには、ストレスを上手に活かして生活を楽しむことが健康に繋がります。

社会の荒波にもめげず打ち勝つて新たな人生を切り開いていくには、ストレスの抵抗力をつけストレスサーにに応じたいろいろな対処法を持つことと、自分の周りにサポートをたくさん持つことです。  
ストレスを柔軟に乗り越えるための方法について御案内致します。  
心と体を疲れすぎないように自分の心身の健康に留意して、楽しい生活をお過ごし下さい。



看護師(八代キャンパス) 反頭昭子

この冬、感染性胃腸炎やマイコプラズマ肺炎の全国流行が見られました。この冬の感染性胃腸炎の主な原因は、ノロウイルスによるものでした。新聞報道によると今回は、ウイルスの変異が確認され、流行が拡大しているとの事で、死亡者も多く発生しています。

ウイルス対策の基本は、予防ワクチン接種や、うがい、手洗い、体力保持増進、休養等が挙げられます。  
特に手に付着するウイルスや菌などを洗い流すためには、石鹸による手洗いが不可欠です。インフルエンザの予防も同様ですが、しっかりと泡を立てての手洗いやうがいを習慣化しましょう。その後、教室内に設置してあるアルコール剤による手洗いは、インフルエンザには特に有効です。

各洗面所に貼ってある手洗い方法のイラスト通りに、まず、手を洗ってみましょう。日頃、手を濡らすだけの手洗いではありませんか？

交通網の発達で、世界の感染症

も身近に迫ってくる時代になりました。地球規模のパンデミックに備えるためにも、個人の保健知識の行動化が必要です。  
ところで、今後、いつ変異するかもしれない各ウイルスですが、対応の参考になる事例が2009年に発生した「新型インフルエンザ」ではなかったかと思えます。

本校では、機構本部から届いたマニュアルに基づき、全校掲げての対応をしました。熊本県内で、その全容を検証した書籍(検証… 新型インフルエンザ2009)の中、本校の全校掲げての対応が、集団における危機管理のモデルになると医療系の先生方から絶賛して頂きました。

又感染防止の一番手の対策であるワクチン接種ですが、世界的なパンデミックに備えて、国内四カ所の民間企業で製造されています。その内のひとつが熊本県内にあり、日夜、それらの研究がなされ、国民の健康を担っています。  
どうか、全世界が安全安心であることを、切に祈っています。

## 急斜面崩壊防止工事の工事現場 見学会に参加しました

本校と国土交通省八代河川国道事務所は、学生に対する専門教育及びキャリア教育に関する協定を結んでいます。今回はその一環として、八代河川国道事務所が工事を行っている「南九州西回り自動車道芦北～津奈木間」の芦北町湯浦地区における急斜面の崩壊防止工事現場を見学させて頂きました。

八代河川国道事務所ならびに社団法人全国特定法面保護協会九州支部の方々から簡単な説明のあと、実際に現場を施工されている管理者の方から詳しい説明を受けました。次に、実際の施工現場の見学では、急斜面を仮設階段で昇り、最頂部での工事風景を見学しました。斜面にアンカーボルトを打ち付ける工事では、その手順と必要性についての説明に真剣に聞き入っていました。目の前に実際の施工現場と工事機器や部品等が広がっている中で講義は、学生だけでなく引率した教員にも興味深いものでした。



## 本校学生が日経テクノネサンス・ジャパン で村田製作所優良賞を受賞しました

日本経済新聞社主催 第5回「企業に研究開発してほしい未来の夢」アイデア・コンテスト（愛称：テクノネサンス・ジャパン）が実施され、制御情報システム工学科3年の白見 海君が村田製作所優良賞を受賞しました。

テクノネサンス・ジャパンは理工系学生を対象としたコンテストで、企業の事業・技術を組み合わせ、将来実現できたらいいなと思う画期的な製品のアイデアを競うコンテストです。全国の大学生・大学院生も多数応募するなか、白見君のアイデアは高評価を受け、高専3年生ながら素晴らしい成績を収めました。

## 「学生発ベンチャー・夢挑戦ビジネス 大賞2012 in くまもと」で大賞を受賞

「学生発ベンチャー・夢挑戦ビジネス大賞2012 in くまもと」（主催：熊本県、(財)熊本県起業支援センター、後援：経産省九州経済局ほか）は、熊本県内の大学・高専・高校に通う学生および大学院生（留学生を含む）を対象に実施されました。応募総数15件（大学11件、高専4件）の応募があり、本校学生が大賞と奨励賞を受賞しました。

1月22日(火)、熊本県庁で表彰式が行われ、熊本県知事による表彰状と副賞を小野副知事により授与されました。

大賞	電子情報システム工学専攻1年 牧 高央君 「感覚検査における検査者の負担を軽減する CSD（統合型皮膚検査提示器）」
奨励賞	情報工学科5年 田口 景織子さん 「いつでもどこでも！テリバリヤ墊」



## 本科3・4年生が、技術士第一次試験 に合格しました

2012年度技術士第一次試験（2012年10月8日実施）に、八代キャンパス機械電気工学科4年生の荒木天秀君と機械知能システム工学科3年生の古崎伴征君が合格しました。

この試験は、技術士になるための第一次試験で、科学技術全般にわたる基礎的学識、適性、専門的学識が問われ、専攻科修了生や大学卒業生、社会人技術者を主な受験対象レベルとした合格率35%程度の難関の国家資格試験です。

機械知能システム工学科では専門特別セミナーの1つとして取組んでおり、毎年数名の学生が合格していますが、3年生での合格は2008年以來の快挙となりました。



## 第16回 ボランティア・スピリット賞の コミュニティ賞を受賞しました

熊本キャンパスの科学ボランティアが、PRUDENTIAL SPIRIT OF COMMUNITY 第16回 ボランティア・スピリット賞のコミュニティ賞を受賞し、表彰式が12月8日(土)に長崎ブリックホールにて行われました。

本校では、地域の小学校や公民館からの依頼を受けて実施している科学実験・工作教室に、多数の学生がボランティアで参加しています。特に、今年度は南小国町の小中学生を対象とした教室を学生によって企画・実施し、多くの参加者がありました。ボランティア学生は、科学の面白さをわかりやすく伝えることに工夫をしながら活動しています。表彰式には、代表として2年1組松川晃大君が出席しました。



## 平成24年度熊本高専動物実験教育 訓練講演会を実施しました

12月11日(火)八代キャンパスにおいて、株式会社新日本科学・安全性研究所の茶谷文雄博士を講師にお招きし、「平成24年度熊本高等専門学校動物実験教育訓練講演会」を実施しました。

講演では「医薬品の開発における動物試験(毒性試験を中心に)」と題して、「医薬品の製造開発と安全性」、「動物を用いた毒性試験」、「動物倫理」、「毒性学及び求められる人材」について、ご講演いただきました。

講演会の参加者は、医薬品の製造開発が長期間かつ莫大な予算を投じて行われている実態に驚き、ヒトへの安全性確保のために行われている動物試験(毒性試験)がいかに重要であるかを学び、さらに動物愛護を踏まえた適正な管理方法について現場の話聞くことができました。

## 電子工作コンテスト2012で本校学生が学生賞と はんだづけカフェ賞をダブル受賞しました

電子工作コンテスト(主催:株式会社ピーバンドットコム)は、新しい電子工作の文化を広めていくこと、才能あるモノづくりの担い手の発掘を目的に、年に一度自作した電子工作作品をインターネット上で発表するコンテスト形式の電子工作の祭典です。応募作品176点の中から、電子工学科5年 吉村 圭一郎君の作品が学生賞とはんだづけカフェ賞の2賞をダブル受賞しました。

吉村君の受賞作品は「ピンポン玉お絵かきロボット」で、Arduinoとステップモータ2個、サーボモータ1個を用いて、卓球玉に文字や図形を描く球面ペンプロッタです。市販の部品を使用しつつ精度よく製作できている点や、座標を元に線を描くプログラムなど、細かい点に工夫を凝らした点が評価されました。



## 新春恒例!少林寺拳法部で鏡開き式 を行いました

1月8日(火)、八代キャンパスの少林寺拳法部が毎年恒例の鏡開き式を行いました。少林寺拳法部では、新年最初の練習に先立ち顧問から新年の挨拶を頂くとともに、部員自身が昨年の反省と今年の抱負、そして「具体的な目標」を全員の前で述べる伝統行事が執り行われてきております。これは「頑張る」とか「努力する」といった抽象的な言葉ではなく、「初段を取得する」「大会で優勝する」などの具体的な目的を述べることで、現実味を帯びた目標を意識させることとなります。

新年を迎えて新たな気持ちに切り替えた後は、部員達が作った「ぜんざい」が振る舞われました。

# 行事予定 Event Calendar

4月▶9月

## 〈熊本キャンパス〉

- 4月 4(木) 始業式  
5(金) 入学式  
8(月) 授業開始  
10(水) 対面式  
22(月)~23(火) 1年生合宿研修  
27(土) 保護者懇談会・奨学後援会総会・寮生保護者懇談会  
30(火)~5/1(水) 春季クラスマッチ

- 5月 10(金) 専攻科推薦選抜試験(電子情報システム工学専攻)  
25(土) 専攻科学力・社会人選抜試験(電子情報システム工学専攻)

- 6月 6(木) 6月上旬 高校総体  
11(火)~17(月) 前期中間試験

- 7月 12(金)~14(日) 九州沖縄地区高専体育大会  
19(金)~21(日) 九州沖縄地区高専体育大会  
22(月) 編入学試験(本科)  
23(火)~29(月) 前期定期試験(専攻科)  
30(火)~8/5(月) 前期定期試験(本科)

- 8月 10(土) 夏季オープンキャンパス  
13(火)~9/23(月) 夏季休業(本科)  
13(火)~9/29(日) 夏季休業(専攻科)  
8月中下旬 全国高専体育大会

- 9月 24(火) 後期授業開始(本科)  
30(月) 後期授業開始(専攻科)

## 〈八代キャンパス〉

- 4月 4(木) 始業式・授業開始(本科)  
5(金) 入学式  
8(月) 対面式・授業開始(専攻科)  
18(木)~19(金) 1年生合宿研修  
26(金) 保護者懇談会・後援会総会・寮生保護者懇談会

- 5月 17(金) 専攻科推薦選抜試験(生産システム工学専攻)  
21(火) 学生総会・球技大会

- 6月 6(木) 6月上旬 高校総体  
7(金)~13(木) 前期中間試験  
21(金) 専攻科学力・社会人選抜試験(生産システム工学専攻)

- 7月 12(金)~14(日) 九州沖縄地区高専体育大会  
19(金)~21(日) 九州沖縄地区高専体育大会  
26(金) 編入学試験(本科)  
22(月)~26(金) 前期定期試験(専攻科)

- 8月 8/1(木)~8/7(水) 前期定期試験(本科)  
11(日) オープンキャンパス  
5(月)~9/24(火) 夏季休業(専攻科)  
13(火)~9/29(日) 夏季休業(本科)  
8月中下旬 全国高専体育大会

- 9月 6(金)~8(日) 保護者懇談会  
25(水) 後期授業開始(専攻科)  
30(月) 後期授業開始(本科)

## 編集後記

今年度も残り僅かとなりました。この前入学してきた学生がもう卒業かと毎年感じています。卒業生の皆さん、ご卒業おめでとう。しっかりとした目標をもって立派な社会人になってください。教職員一同、心から応援しています。

独立行政法人 国立高等専門学校機構  
**熊本高等専門学校**  
<http://www.kumamoto-nct.ac.jp/>

〈熊本キャンパス〉  
〒861-1102 熊本県合志市須屋2659-2  
TEL 096-242-2121

〈八代キャンパス〉  
〒866-8501 熊本県八代市平山新町2627  
TEL 0965-53-1211